

つなぐ

古墳、地域、人の心

奈良は史跡が多いので、慣れてしまっているかもしれませんが、それでも先日の「富雄丸山古墳が国内最大と判明」のニュースは、富雄の名が全国で聞かれるという意味では大変誇らしいできごとだと思います。

先日地域のある会議で、「富雄を誇り、愛する子を育てるには、地域の大人が、誇られる、愛される富雄を作らなければ」といったお話が出ました。皆さんの中には富雄で生まれ育った方も、移り住んで来られた方もおられるでしょうが、今まさにこの富雄をふるさととして育つ子ども達に、私たちが見せられる富雄の光景はどんなものでしょうか。それは時を経て忘れたように思っても、ある時浮かび上がってくる、心に刻まれた原風景になるものです。

私も一人の親として、地域人として、できることから始めたいと思います。まずは「おはようございます」と、挨拶をするところから。

館長 清原 弘章

平成 30 年
新春号
(通算第 12 号)

発行

(公財) 奈良市生涯学習財団

富雄公民館

奈良市鳥見町二丁目9番地
0742 (43) 5386

〒631-0065



「奈良市富雄に国内最大の円墳」。ここに暮らす私たちにとつて、たいへん興味深いニュースが先日発表されました。市が行った航空レーザによる3次元計測調査によると、これまで最大とされていた埼玉県行田市ぎょうたの丸墓山古墳の径105mを上回り、径110m前後の円墳であるとのこと。

見慣れた町の風景に溶け込み、こんもりとした単なる雑木林にも見える富雄丸山古墳。そこには、どのような歴史があるのでしょうか。そして、被葬者は誰なのか。今回は、第一次調査(1971年)、第二次調査(1982年)にわたって調査の発掘責任者を務めた泉森いずもりさん(現 檀原考古学研究所特別指導研究員)の発掘報告資料と、ご本人からの聞き取りをもとにしたレポートを紹介します。

第一次調査実施時点では、径86m、第二次調査では径102m前後の可能性が指摘され、すでに県下最大の円墳として注目されながら、その実体解明には余地を残していた富雄丸山古墳。明治時代の盗掘によって多くの



富雄丸山古墳 ～日本一の大円墳だった～



出土品が市場に流れ、「伝富雄丸山古墳出土品」として重要文化財に指定されていた遺物の数々。この時の調査で見つかった破片が鋳形石の欠損部分にピタリとはまり、これにより丸山古墳の出土であることが立証されました。(現在も京都国立博物館所蔵)

泉森さんは、「鋳形石の破片であることは、すぐ分かった。博物館にあった蔵品は、色が少し違ったが形がよく復元できていたから。(多くの発掘調査をしてきたが) これだけの大きな発見は少ない。」と、当時を振り返ります。多数の副葬品が埋納されたことに加えて、祭祀を行う場所と考えられている張り出し部分「造り出し」があることも、特徴の一つ。ヤマト王権内の一勢力が、この地に築かれていたことが想像できます。では、被葬者は。「富雄町史」

には、桓武天皇の皇后であった旅子か？との記述がありますが、4世紀後半の円墳とされることから、この可能性はないようです。では、これだけの大古墳でありながら、近隣の垂仁天皇陵や生駒市竹林寺古墳と違い、なぜ



前方後円墳でなかったのか。これについては、土木技術の差とみるよりも、何らかの政治的理由(前方後円墳を築造できる首長と、それを許されず円墳を築く首長に区別していたという規制)によって生じたと考えられます。

富雄川流域は、神武紀の金鷄伝説にもあるように、長髓彦ながすねひこに代表される在地豪族がいた可能性は高く、被葬者は、大和朝廷を形成する諸氏族と対抗しうる在地豪族であったとの見方ができます。文献によると「その後、戦いに敗れ、流域のわずかな耕地を経済基盤とする小豪族に転落していったことは、この辺りに5世紀代の中期古墳が見られない点からも明らか。」とのこと。

今は住宅地内の公園として姿を変えた富雄丸山古墳。遠い昔、富雄で暮らした祖先が見た景色に思いを馳せます。

*同古墳の出土品は、京都国立博物館の他、天理参考館(常設展示)、奈良市埋蔵文化財調査センター(特別展開催期間除く)で見ることができます。

【参考文献】「大和の古墳を語る」

「大和古代遺跡案内」

共に著者・泉森 皎

子どもチャレンジ隊
ツリーリスト体験でGO!!!

毎年違ったテーマで行っている「子どもチャレンジ隊」。小学生の子どもたちが今回は、決められた費用と時間を条件に自分達のグループ旅行計画をまとめ、実施しました。また、地域の中学生4人がリーダーとして参加。子どもたちをまとめ、共に楽しみ、ときに導く頼もしい先輩たちでした。



がリーダーとして参加。子どもたちをまとめ、共に楽しみ、ときに導く頼もしい先輩たちでした。

こんなことがありました

今日から美味しい夫婦時間

子育てが一段落した夫婦を対象に、11月から全2回で行いました。妻が料理講座の間、夫はグループワーク。次の回には入れ替わり、お互いに手料理を一緒に食べる時間も設けました。お料理指導は鳥見通りの創作ごはん屋「楽素」の谷内さん。グループワークはパ



ートナーシップデザインオフィスの坪井さんといっしょに、脳科学を元により良い夫婦関係を考えました。

こんな講座をやります!

1 / (日)
28

10時~13時

託児あり

名店シェフのまかないレシピ

人気のシリーズ第6弾。今回はシリーズ1回目に講師をしていただいた、「フレンチ居酒屋えとね」オーナーの東郷匡宏さんが、前回抽選で涙をのんだ皆さんのお声により再度のご登場です。

講師：フレンチ居酒屋 **えとね** オーナー **東郷 匡宏さん**

費用：1300円 (材料費：1,000円 受講料：300円)

定員：富雄中学校区・富雄第三中学校区の
在住・在勤・在学の18歳以上 16人

託児：6ヶ月~未就学児 (定員あり)
(申込時に、名前・ふりがな・性別・月齢必要)

締切：1/11 (木) (多い場合抽選)

2 / (日)
18

13時30分~15時

ふるさと再発見! まちの人間国宝さん
~岸野弦楽器工房~

平成29年6月に鳥見通り沿いにオープンした弦楽器工房におじゃまして、弦楽器製作者の岸野さんにお話し伺います。また、富雄中学校吹奏楽部出身で、岸野さんのヴァイオリンを愛用する山口さんに、岸野さんのヴァイオリンを演奏していただきます。

講師：株式会社 Liuteria-KISHINO CEO **岸野 大さん**

演奏：奈良県立ジュニアオーケストラ **山口 翔太郎さん**

費用：無料 / 会場：岸野弦楽器工房 (富雄元町3-3-16-2)

定員：富雄中学校・富雄第三中学校区在住の15歳以上 12人

締切：1/25 (木) (多い場合抽選)

ホームページ
掲載は
2月初旬

3 / (火)
6

13時~16時

ワードで簡単! 募集チラシ

「活動グループの会員を増やしたい」「グループ作品展の広報チラシを作りたい」などのお悩みに、Wordの基本操作から、文字の装飾などを使ったチラシを作る方法を学習します。「なかなかパソコンを使いこなせてないなあ」と感じておられる方も、ぜひご参加ください!

定員：原則として、富雄中学校、富雄第三中学校区在住・在勤・在学の

マウス操作・文字入力自在に可能な成人 10人

講師：(公財) 奈良市生涯学習財団パソコン学習サポーター

費用：500円 (教材費)

締切：2/15 (木) (多い場合抽選)

編集後記

早いものでもう平成30年です。子どもの頃にくらべて、時の流れるのを早く感じますが、特に充実した時ほどそう感じます。

公民館で行った年末の講座では、元気な小学生のたくましさ、少し大人になった中学生の頼もしさ、先輩夫婦のまぶしさを体感しました。

それぞれ今の自分が持つ自然体の姿が出ているのでしょうか、どの時を過ぎず姿も輝いていて、うらやましく感じました。自分も今、そうでありたいと思います。

お申込み方法 (1~3のいずれか)

- 1) 往復はがき…「講座名」「氏名、ふりがな」「年齢」「性別」「住所」「電話番号」を記入し、公民館へ
- 2) ホームページ…「まなぶなら (<http://manabunara.jp>)」の「講座案内」をクリック
→「富雄公民館」をチェックして「検索」(または左のQRコードを携帯等で読取る)
→各講座のページの下部にある「参加申込」をクリック
→必要事項を記入して「確認」をクリック
→確認画面の下部にある「送信」をクリック
- 3) 富雄公民館の窓口…窓口で専用紙に記入。
返信用のはがきが一人一枚必要

